

## あふ 愛溢れる北の大地で、 はくく 夢持つ人を育む

～北海道登別明日中等教育学校開校式・入学式～

4月9日(月)、片倉町の北海道登別明日中等教育学校で開校式と入学式が行われました。

同校は、北海道で初の一体型中高一貫校で、中学校に当たる前期課程3年間と高等学校に当たる後期課程3年間が一つとなり、6年間の一貫した教育を行う学校で、地域や北海道の良さを学ぶ選択科目の開設や英語以外の教科を英語で行うイマージョンプログラムの導入など、特色ある教育活動を行うこととしています。

開校式では、北海道教育委員会の橋場昇委員長が、「本校の輝かしい伝統と校風をつくり上げていただきたいと心から期待します」と式辞を述べました。

引き続き行われた入学式では、入学を許可された前期課程80人、後期課程81人の名前が一人ひとり呼ばれたほか、大山節夫校長が「本校のキャッチフレーズ『愛溢れる北の大地で、夢持つ人を育む』のとおり、北の大地をしっかりと踏みしめ、友人たちと輝く未来に向けて努力できるよう全力でサポートします」と述べ、新入生を代表して西仁志君（前期課程）と山崎友子さん（後期課程）が「明日にしかない新しい伝統を築いていきます。日々高い向上心を持って学校生活を大切に送ります」と宣誓しました。



▲登別明日中等教育学校



また、校歌『明日の空に』は、札幌出身のシンガー・ソングライター大黒摩季さんが作詞作曲を手掛けたもので、校歌の披露では大黒さん本人が登場し、「このふるさとから離れたとき、愛とか夢とか、これから皆さんが過ごされる思い出が必ず背中を押すでしょう。たくさんの思いを込めてつくりました」とあいさつ。校歌を熱唱し、生徒たちの入学を祝福しました。

また、校歌『明日の空に』は、札幌出身のシンガー・ソングライター大黒摩季さんが作詞作曲を手掛けたもので、校歌の披露では大黒さん本人が登場し、「このふるさとから離れたとき、愛とか夢とか、これから皆さんが過ごされる思い出が必ず背中を押すでしょう。たくさんの思いを込めてつくりました」とあいさつ。校歌を熱唱し、生徒たちの入学を祝福しました。

## 新たな遊び場がオープン

4月2日(月)、登別温泉公民館内に登別温泉児童室を開設しました。

この児童室は、平成19年度から登別温泉小学校と登別小学校の校区が一体化され、平成18年度をもって登別温泉小学校が閉校されたことに伴い、子どもたちの放課後の居場所づくりのために開設しました。

オープン初日は、14人の子どもたちが塗り絵や工作、バドミントンなどをして楽しそうに遊んでいました。

児童室は、児童厚生員が常駐しており、本を読んだり塗り絵などをしたりする部屋と一輪車やバドミントンなどのスポーツができるホールに分かれていて、18歳以下の児童であれば、月～土曜日（祝日を除く）の9時から17時まで無料で利用できます。

～登別温泉児童室開設～

